

薪ストーブや暖炉の使用について

化石燃料を使用しない薪ストーブや暖炉は、地球温暖化防止対策として有効です。しかし、近年、煙、臭いやススの飛散による苦情が、市役所へ寄せられています。

使用している方、これから使用を考えている方は、次の点にご留意いただき、快適な環境づくりへのご協力と、近隣へのご配慮をお願いします。

◇ 近隣への配慮

近隣への迷惑にならないよう設置位置や、煙突の高さ、脱煙、脱臭設備のご検討をお願いします。

洗濯物を干す時間帯には使用を控えたり、使用を最小限に抑える工夫をお願いします。

◇ 薪の確認

十分に乾燥させてから使用してください。湿っていたり、一度にたくさん入れ過ぎると、多量の煙や臭い、ススを発生させます。

接着材、塗料を使用したものや化学処理された木材は、悪臭を発生させます。絶対に使用しないでください。

自然木でも種類によっては、多量の煙が発生することがあります。針葉樹はススやタールが煙突に付着しやすいので、広葉樹をお勧めします。

ごみや紙くず等を一緒に焼却しないでください。東京都内では「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」によりごみ等の焼却は禁止されています。

◇ 空気量の確認

空気の絞りすぎは、不完全燃焼の原因となり、多量の煙や臭い、ススを発生させます。

◇ 定期的な保守点検

煙突のススをこまめに掃除するなど、適切な維持管理をしてください。

- ※ ペレットストーブは、薪ストーブや暖炉と比べ煙や臭いが少ないとされていますが、保守点検が不十分であったり、正しく使用しないと、煙や臭いが発生することがあります。

～煙や臭いが周辺の迷惑になっていないか、常に気配りをお願いします～



《問合せ先》

八王子市環境部環境保全課
大気汚染対策担当

TEL: 042-620-7217